

心の和がれ No.45

(2013/11~12)

p 01~01	小事こそ大事	p 03~03	年矢の速さに
p 01~01	申し訳ない。と	p 03~03	あと半月
p 02~02	曲がったもの	p 03~03	皆の利益のために
p 02~02	点検はお忘れなく	p 04~04	ルック・オン・ザ・ブライツ・サイド
p 02~02	会いたい会		

2013.11.03

・小事こそ大事

今年もあと残すところ2ヶ月、年矢の過ぎ行くのが早く感じるようになった「一日は長く、一年は短い」高齢者の感じることだが、齢75学びたいことは山積まだまだ元気であらねばと体力維持に心掛ける。◆一年を振り返って見れば、「恐山」の体調異変であった。以前より前兆があり用心を重ね専門医師の診察を受けていたため処置も早く、今は日常生活には支障もない。◆何の障害もない平坦な道が続く人生はありえない。日常生活で気付かないような小事に大きな変化への兆しを見抜く。わが身は勿論のこと、あらゆる組織・個人にとっても、それが賢明に生き抜くための力となる。小事こそ大事。人生万般にわたる目標達成や家族の安泰のための要諦でしょう。

2013.11.10

・申し訳ない。と

一列に数名が並び、申し訳ありませんでした「言い訳三昧・自己保身・利益過追及」頭を下げるのは猿でもできる、とはモンキーに失礼かな。食品表示で安い材料を使って高く売る、販売価格に文句はつけないが、原材料の偽表示は許せない。この偽表示があちこちから続出、これ幸いのごとく便乗報告。おまけに言い訳がましく又、部下の仕業にする姿勢に”何だこの会社は” 部下の過ちは全てトップの責任だ。百貨店と一流気取りであるが、小売業者の集合体ではないか「創業者訓はどうした」食品がこのような状態では他の商品にも疑問視したい。◆拙生など余りイヤまったく外食はない、妻のつくる料理に勝るものはない。食材ひとつにせよ、庭の片隅に出来る茗荷の味は、外食で食べた味とは比較にならない。他人が”あの店の料理の味は素晴らしい” 一つ一つの食材の味に精通しているのだろうか、案外高級な雰囲気にも真負けされていないか。顧客への深い想いのある店は店構えではなく、従事する全てが一丸となって”おもてなし”の真心が伝わり、信頼へと昇華する。・・・また、ぼやいてしまった。

2013.11.17

・曲がったもの

庭木は真っ直ぐに伸びたほうが美しと思っていたが改めたい。門扉を飾る松は重量感がありどっしりと構えた根元から伸びた枝の曲線が美しい。風雨風雪に耐え太陽に向かって上へ上へと伸びていく、生きようと強い意志と負けない気迫が伝わってくる。◆曲がるという字は「変化のある面白み」とある。音符も楽譜の上で一列に並んでも変化もなく音楽にならない、曲線を描くことによってメロディーとなるように人生も同じだ。庭木も曲線の造形によって美しくハーモニーも生まれ風が見える。冬の訪れを告げる木々に移り変わる四季を感じ、我も衣替えにおしゃれを楽しもう。

2013.11.24

・点検はお忘れなく

久しぶりに通勤の満員電車に乗ったが十数年ぶりだ、中に和服のご婦人が茶道か華道か、いや舞踊のお師匠さんかも、と想像するのも楽しいもの混雑も苦にならない。しかし惜しいなこんな美人が、知らずのも悪い気がする。本当の親切心なら言ってあげたい。数年前に詠んだこの句「春風の 匂い香し 麗夫人 覗く鼻毛が アクセントに」急ぐとも出かける前には隅々まで念入りにご注意あれ。

2013.12.01

・会いたい会

「朋有り遠方より来る、亦た楽しからずや」東京から紅葉の撮影に来京。一年ぶりの再会、変わらぬ健康に互い感謝の言葉が行き来する。来年は互いに喜寿を迎える、精神的・肉体的にも健康そのものだが体のパーツ毎に軽い異常が発生するも、元気である。久しぶりのYou&Meの「会いたい会」。命名は、上から読んでも下から読んでも「会いたい会」上下の隔たりがなく、相手を信頼し忌憚のない意見を交わす楽しい会である。◆今日は地域のクリーンデー町内の美化に老若男女が参加する。93歳のご高齢のご婦人からヨチヨチ歩きの幼子まで。地域は地域の住民で「安心・安全・清掃」を心掛け一致団結することにより深い絆が生まれる。将来を担う子育ても然り、親・先生・地域住民が導く姿勢が必要である。”叱ると怒る”ことは違い怒りは自分の感情が入り子育てには無意味だ。何事にも愛情が伴った叱りが必要で、これには親も成長して理解も伴わなければならない。◆「良き親・良き先生・良き友・良き住民」の環境が町を明るくし発想豊かな子どもに育ち、将来”あのおばさん・おじさん”と記憶に残り「会いたい会」の精神に繋がって行くことではないだろうか。

2013.12.08

・年矢の速さに

今年も残すところ約 543 時間で 32,580 分だ秒に直すと、……やめておこう、せわしない！。せわしないと云えば、12 月に入ると寒さも増してきた、庭の気温も 5℃この程度で風がなければ早朝散歩で体温も上昇し快適であり、そろそろ年の暮れといった感じが深くなった。先生が走るほど忙しいから「師走」というのは落語めいた俗説であるが、先生は日ごろから多忙極まりないだろうに。実りの多かった一年間の学びを生徒と共に語り合って頂きたい。師走とは年の終わりとしては、押しつまった感じが強い。◆年賀状に一筆書き添え準備も終わったが、12 月に入り、喪中の知らせが数枚届く、先方様方も喪に服され多忙極まりなかったのであろう。喪中のご家庭に中旬「このたびは思いがけないご不幸に見舞われなさいましたこと 心からお悔やみ申し上げます さぞかしお力を落とされ 九腸寸断のことと存じ上げますが どうぞ皆様方には 御身専一に 新しき年を お迎えください」とお悔やみのハガキを届けたい。◆高齢者の「一日は長く 一年は早い」年矢の過ぎゆくのを身を以て感じる今日この頃である。

2013.12.15

・あと半月

シルバー人材センターの機関紙に投稿するために思案したが、「良笑クラブ」の作品に決めた。「化粧品 昔ブランド 今我慢 スーパー品で 変わらぬ効果」果たして不快感を与えずクスッと笑って頂けるだろうか、中には怒る人もいるかもしれませんが、年を重ねるごとに人間角が取れ丸みができる、それを期待しよう。今年も残すところ半月、27 日までスケジュールが満載。30 日は拙生の誕生日体調を損ねず頑張ってお参ります。

2013.12.22

・皆の利益のために

毎年のことながら年末は慌ただしく多忙である。地域活動、年賀状受注の作成、忘年会、舞台鑑賞など。今夜は町内会の夜間パトロールである、風が強く寒いだろうが「安心・安全」のために多くの参加で賑わおうであろう。◆地域活動に努力する人物は、人のために働くことを喜び、感謝出来る人は、輝いている。「最も幸福な人とは、最も多くの人に幸福をもたらす人」とブラジルの諺にある。荣誉も敬意も望まず、黙々とみんなの利益のために働く「縁の下の力持ち」というのだろう。自分のためではなく人々の”喜・楽・健・幸”を願っている◆我が家の木々の剪定が終わっていない、せめて松・タイサンボクなど高木だけでも年内に済ませないと、さっぱりした気分になれないし、みずぼらしい感がある。27 日以後に予定しているが天気を祈るばかりだ。

2013.12.29

・「ルック・オン・ザ・ブライツ・サイド」

25日は松、26日はタイサンボク・花梨を剪定した。その為か体のあちこちが痛む、日ごろ使っていない筋肉が”物申す”と苦言を呈しているが、何だか運動の一環のように思え痛みや疲れも快感のように感じる。◆30日は拙生の誕生日、満75歳に年が明ければ喜寿を迎える。父が53歳、母が69歳で他界したが健康な体に生んでくれたお蔭で両親より長命である。年を取ると丸くなり、昔の話が多くなり両親の教えが切々と懐古される。元旦には仏壇に感謝の手紙でも供えたいが、乱文乱筆の拙生。特にパソコンで伝えるようになると酷いものである。◆父は几帳面で文字もMS明朝体そのもの、背筋を伸ばし雑念を払うがごとく机に向かい、帳簿書類や文章作成には丁寧に美しく、机はいつも整理整頓され鉛筆はナイフできれいに削られ、次への準備も怠らない。思えば”今の自分は”と反省しきりである。◆情報の伝達が早くなり、手書きの手紙など昔ごとの様であるが、今でこそ真心こもった手紙が必要ではなからうか。「徒然草」に「手のわろき人の、はばかりず文書きちらすは、よし。みぐるしとて、人に書かするは、うるさし」とある。たとえ字が下手でも、恐れずに書くことはよし、下手だからといって人に書かせるのはいけないと。書いて書いて書きまくれ精神が望ましい。◆「ルック・オン・ザ・ブライツ・サイド」日の照る側を見る、という言葉が好きです。相手に喜びや優しさを届けることが手紙の本質です。手紙は丁寧これが命です。丁寧な心で書く、これを積み重ねることで必ず自分を鍛える学びとなるでしょう。礼は感謝の心を早く届けたいもの枕草子に「朝顔の露おちぬさきに文かかむ」とあり、朝顔の露が落ちるよりも早く、手紙を書こうという心意気です。来年こそ相手の良いところに焦点を絞って「ルック・オン・ザ・ブライツ・サイド」で活動していきたい。

2013.11.～2013.12

E N D